

広い杉並区。地域によって違った趣を感じます。地理に不案内な方であれば、ぜひ、インターネットなどで地図を眺めてみませんか。

青梅街道（地下鉄丸ノ内線）の南面。蛇行する善福寺川に向かうエリアをご覧ください。住所では成田、松の木、堀之内と呼ばれる街。杉並らしい町並みです。緑も深く、しっとりとした情緒が流れます。春には、随所に満開の桜雲が覆います。今春もお花見の散策に訪れた方も多いでしょう。

丸ノ内線の「新高円寺」駅から路地を南へ歩みます。東京立正中学高等学校（以下「東京立正」）に出会います。新宿の高層ビルも間近に望むロケーションにあつて、「木漏れ日の学園」と描かれるキャンパス。この地の落ち着いた風情を象徴するランドマーク。歴史を感じる校舎からは、子どもたちの成長の場にふさわしい、温かな気配も伝わります。木漏れ日を浴びる花々の演出に、ほっとできると思います。

妙法寺は、江戸時代から堀之内の地で人々を守った日蓮宗の古刹。今も、「厄よけ祖師」として地域に親しまれています。

1926年（昭和元年）、妙法寺は立正高等女学校を設立しました。長年、誠実に女子教育に専心。勉学はもちろん、スポーツの強豪としても名を残しました。21世紀に男子を迎え、現在は共学校として杉並の街になじみます。由緒も正しい正統派名門は、妙法寺のスピリットを大切に受け継ぎ、慈悲・平和の大切さを授け、社会に貢献する人材の育成を志します。

家庭的な校風こそが東京立正の真髄。成果主義が過ぎ、競争を煽り、脱落者を切り捨ててしまうような教育はみじんも見えません。一人ひとりが落ち着いた学習環境に守られ、仲間、先生と心を交わしながら、自分の意志で学習に励んでいます。

どんな困難にもくじけず、自分を高め、心をみがき個性を伸ばすために、すすんで勉学の道に励もう。

宮下校長先生の導きも力強く響きます。決して甘くかばい守るのが東京立正ではありません。近年、意欲も高まる東京立正生。進学先でもクラブ活動でも成果が実っています。おとなしい学校との印象も濃いでしょいか？ でも、ムーヴでは東京立正生の明朗な笑顔、快活に駆け回る姿をぜひ知ってほしいと思っています。

安全と安心。まさに今、学校に求められている重要課題です。子どもたちは、授業でもクラブでも学校行事でも糧を得ます。東京立正は今、学校が守るべき最も根底的な使命を確かめ、子どもたちを招きます。毎週月曜日、全校生徒が講堂に集まって瞑想をします。心の安定を図り、生き方を学ぶためです。妙法寺の歴史と本校創立者岡田日帰上人の建学の精神も心にとどめます。

喜びも悩みも分かちあい、学びあい、助けあい、信じあい、明るく楽しい学園生活を過ごさす。そして、命を尊び、自然の恵みに感謝し、すべての人の幸せと、安らかで平和な社会の実現に努める。東京立正が授ける理想こそが、まさに「安全と安心」の源だと信じます。

今、確かめたい [安全と安心]

東京立正中学校・高等学校 / 東京都杉並区

● 一步一步着実に。東京立正 6年間の丁寧な歩み

1年生	2年生	3年生	4年生(高1)	5年生(高2)	6年生(高3)			
基礎学力養成期		基礎学力充実期		実力養成期				
安心・安全 じっくり基礎力						アドバンス コース	文系	→ 国公立大学 難関私立大学
							理系	
						スタンダード コース		文理系
生活ノート		スタンダード講習 アドバンス合宿		講習・個別指導 自習システム				
コラム学習								
キャリアプログラム								

コラム学習

生徒たちは、毎週さまざまな（新聞などの）コラム記事のなかから、担任が適切な文章を選び、原稿用紙に書き写します。読むだけでなく、書く作業を通じ、知識を蓄え、考察力を耕します。美しい文字を書く習慣を身につけます。社会への関心が高まり、時事問題に明るくなります。夏休みには心に残っている記事を要約し、よりいっそう視野と知識を広げます。この積み重ねは、大学入試の論文や推薦入試でも助けとなるでしょう。

高等学校 2つのコース

【アドバンスコース】

1年次より、各教科ともハイレベルな教科書、副教材を使用します。難関大学受験を視野に入れた学習に挑みます。特に、英語、国語、数学の時間が多く、週3回、7時限目が行われます。高校2年次から文系・理系に分かれます。文系も理系も万全のカリキュラム。文系は必修の英語8時間、国語7時間を柱に、週6時間の「必修選択」で、世界史・日本史を選びます。理系は必修の英語8時間、数学10時間、化学4時間を全員学習します。高校3年生からは、ほかに豊富な自由選択で個々の進路を実現します。

【スタンダードコース】

卒業後の進路について、あらゆる可能性に対応できるように幅広く学習します。文理系を設定。選択科目によって、各自の進路希望に柔軟に対応します。教育提携校である立正大学をはじめ、多数の指定校推薦枠も確保しています。3年次に小論文指導が必修選択となります。AO入試、一般公募推薦などを利用するための対策にも力を注ぎます。

学校教育のすべてを「安全・安心」につなぎ、
たくましい根を蓄え、
太い幹を伸ばします。



● 野菜づくりで豊かな人間性を育みます

本物に触れる教育を重んじる東京立正。その一環として、中学生全員で畑を耕して「野菜づくり」に挑戦します。毎年、丁寧に収穫するキュウリやトマトの実が生徒たちの成果の象徴ですね。人と自然のかかわりを生きた知識として身につけ、同時に、豊かな人間性を育みます。

● 大自然の営みを実感

林間学校の舞台は校外施設「湯の丸高原荘」（長野県）。里山から高山までの動植物とふれあい、満天の星空にも感動します。森林整備や林業体験から、自然保護の大切さを体感します。集団生活のなかで、社会生活に必要な規律を守る姿勢を整え、思いやりの心を満たします。